

科目名	特殊講義Ⅰ（経営学の基礎）	科目コード	1435	単位数	2
担当者名	堤 悦子	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次

●授業のねらい

この講義では、経営学の基礎的な理解を管理論全般から概観し、今後の商学部生用に、身近になった即席めんメーカーの国際展開を題材にして、商学部としての基本を学んでもらうために開講します。毎回講義の始めの20分で、本を読んできているかに関して簡単なテストをします。回数をつみかさねることで、商学とは何かを理解することをねらいます。

●到達目標

少し厚めの本を一冊読破することを到達目標にしましょう。

●授業内容

- 1週目 導入，問題提起
日系即席めんメーカーの国際展開
- 2週目 先行研究による分析の状況・理論枠組
- 3週目 日本における即席めん産業の生成と発展 P.29-61
- 4週目 経営戦略論（戦略論の基礎、資源戦略論） p.61-89
- 5週目 米国市場の開拓事業展開 p.91-p.124
- 6週目 東洋水産対日清食品の競争 p.124-172
- 7週目 東アジアへの進出 p.172-210
- 8週目 香港への進出 p.219-245
- 9週目 現地企業との連携 p.245-261
- 10週目 インド市場への進出 p.269-300
- 11週目 アフリカ・中東市場への進出 p.300-319
- 12週目 製麺事業の国際展開の流れと要因
- 13週目 現地適応能力の重要性
- 14週目 日清食品の世界共通ブランド化
- 15週目 菊水の干乾ラーメンーメンに関する調査（江別に調査に行く予定）
- 16週目 経営学の全般に関する総括

●準備学習(予習・復習)等の内容

講義前に読んできたかどうかのテストを毎回行います。わからないところは、前もっていつでも質問をして下さい。講義のリズムに乗ると、振り返ってみたくなり、それが復習になります。さらに次を調べたくくなります。それが予習になっていきます。そして講義時に自身の理解度をチェックできます。

●成績評価の方法・基準

全回出席は当然の前提です。複数回行うテストの点の平均点が評価の対象になります。テストは講義する側が受講者がどれだけ取り組んでいるのかを測る目安になります。全員が満点にならなかったような場合には、補うような課題を提案し、積極的に提出することを促すことで評価が修正されます。

●履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

漫然と出席していてもそれだけでは単位はありません。毎回のテストに積極的に予習して臨み、その積み上げが成績になります。合格点に達しない可能性があります。インフルエンザややむをえない事情の場合は、先にわかっていれば堤までメールで知らせた上、翌週証拠となるような文書や葉書・葉袋や領収書などを提出してください。アルバイトを中心にした学生生活を送っている人には向きません。

●テキスト

川邊信雄『「国民食」から「世界食」へ』文真堂

●参考書

●更新日付

2019/02/02 07:09